



## 「ファースト・コンタクト」 竜北生との出会い

校長 尾崎 淳一

竜北中学校の皆さん、はじめまして。今年度、憧れの竜北中学校に赴任した、第12代校長の【尾崎 淳一（おさき じゅんいち）】です。1年間よろしくお願いします。

さて、私と竜北生とのファースト・コンタクトは、8日（火）の入学準備の日でした。実際にはかなり大変な作業である「体育館の座席設置」「各教室への教科書配付」「黒板アート」等々をわずか1時間で完了してしまうと聞いた私は、竜北新3年生はどれだけ凄いのかと興味をもち、校長室から体育館への通路を歩いていました。すると、背後から竜北生の囁きが聞こえてくるのです。

「あの人、初めて見た」「きっと新しい校長先生だよ」「そうかあ、そうだよね」……と。私は驚きました。名札もせず、自分を隠して歩いていたにもかかわらず、竜北生にはバレバレだったのですから。決して、年齢や背格好や偉そうな態度が見抜かれた訳ではないはずです。そう、きっと竜北生は、私のオーラをうまく受信したのでしょう。土曜夜の某テレビ番組のように、「はい、私は……校長です！」と叫びそうになりましたが、取りあえずクールにその場を通り過ぎました。以上が、私と竜北生との『ファースト・コンタクト物語』です。



ちなみに、準備における竜北新3年生の働きは素晴らしく、集団戦法を駆使して、効率的に確実に、椅子をまっすぐに並べる姿に感心しました。少し面倒な作業も、仲間と知恵や力を合わせれば、「たのしむ」ことができますね。ありがとうございました。

入学式・始業式の校長式辞では、新1年生に次のような言葉を贈りました。

さて、フレッシュな気持ちを胸に、中学校生活をスタートする新1年生の皆さんに、私からたった一つお願いがあります。それは、竜北中学校の3年間で、「自分の得意なことを見つける」ということです。それが勉強でも運動でも趣味でも何でも構いません。人は得意なことが一つあると、それが自信となり、多くの仲間とつながり、人生を楽しく豊かなものにすることができると思うからです。

私の「得意なこと」は、見た目のおり中学校から始めたソフトテニスです。そのおかげで、多くの仲間を作ることができました。今でも、ソフトテニスの仲間や部活動の教え子と集まっては、とても素敵な時間を過ごしています。

皆さんも、この竜北中学校で、「自分の得意なこと」を見つけてください。それぞれの得意なことを生かして、自分らしく生き生きと活躍する皆さんの姿を楽しみにしています。

竜北中学校の主役は、741人の竜北生一人一人です。「共に学び、共に育ち、共にたのしむ竜北中」を目標に、自分の「得意なこと」を生かし、仲間と力を合わせて、素敵な竜北中学校を築いていきましょう。楽しみにしています。「竜北生、Go!!」

保護者の皆様、私は校長の尾崎淳一と申します。令和2・3年度の知立中学校長の後、愛知県教育委員会2年、知立市教育委員会1年と事務局を渡り歩きました。今年度から学校現場に戻り、竜北中学校に仲間入りできたことを嬉しく思います。

竜北生はもちろんですが、保護者の皆様も私たち教職員も、地域の皆様も、「共に学び、共に育ち、共にたのしむ竜北中」を目指し、全ての教職員が同じ思いで努力してまいりますので、ご支援の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

（令和7年4月11日）